

令和7年度水産研究センター研究発表会
2026年2月28日

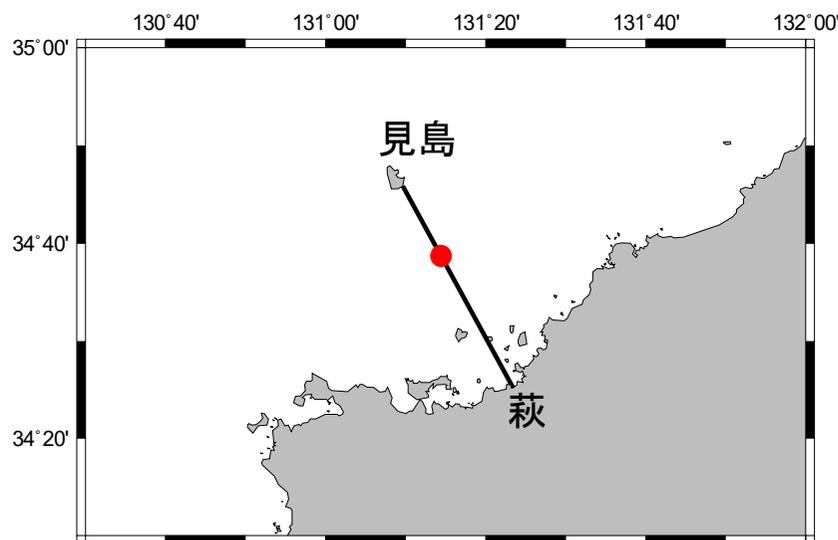
山口県日本海域における 水温変動について

山口県水産研究センター 外海研究部
海洋資源グループ 廣畑 二郎

萩－見島旅客船による表層水温観測

■ **期間** 1963年～現在（原則、欠航日を除く毎日）

■ **海域** 萩市沖北北西15海里点



■ **方法** ① ～1998年3月：棒状温度計（見島丸）

② 1998年4月～：水温センサー（おにようず・ゆりや）

※ 7:50～8:30に観測

萩－見島旅客船による表層水温観測

観測結果の情報提供

- 日々の観測値
無線放送（仙崎無線局）
- 旬ごとの平均値【右図】
県HP（海鳴りネットワーク）

萩沖の表層水温情報（R8年1月9日更新）

山口県水産研究センター 外海研究部

概況

◎萩-見島フェリー「ゆりや」の観測による萩沖北北西15海里の表層水温は、今旬（12月21～31日）、17.35～18.57℃の範囲で推移しました。

◎今旬の平均値は17.87℃で、前旬（12月11日～20日）を0.82℃下回り、平年を0.92℃上回りました。

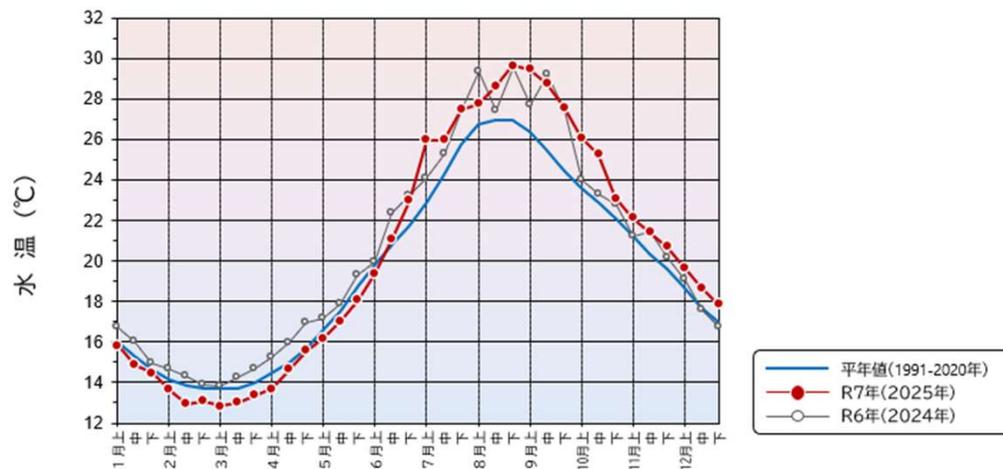


図. 萩沖北北西15海里における表層水温(旬ごとの平均値)の推移

表層水温の長期変動の解析

■データ

1964年1月～2024年12月の観測値

■内 容

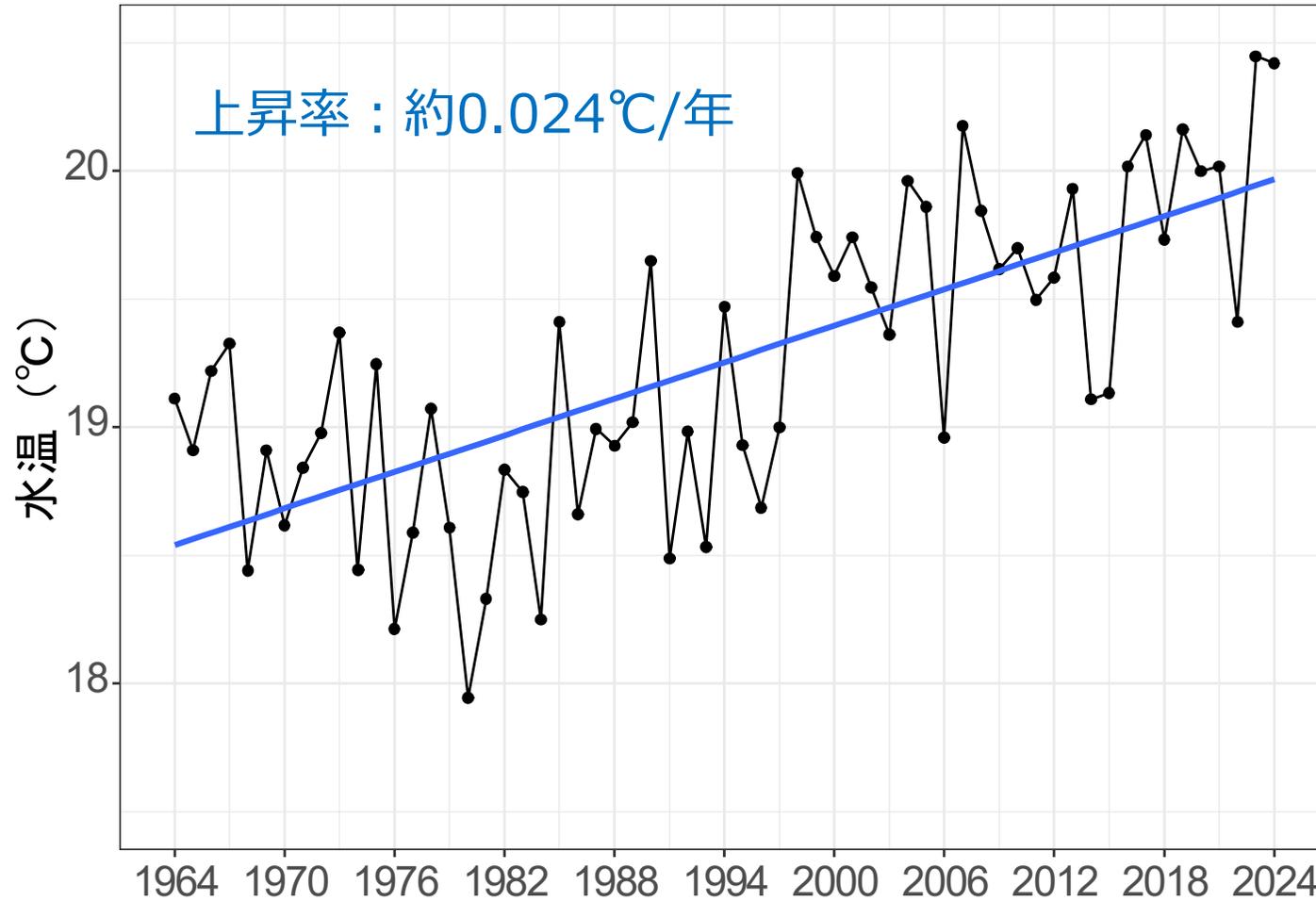
①全体的な変動

年平均値の推移から変動傾向を把握

②季節的な変動

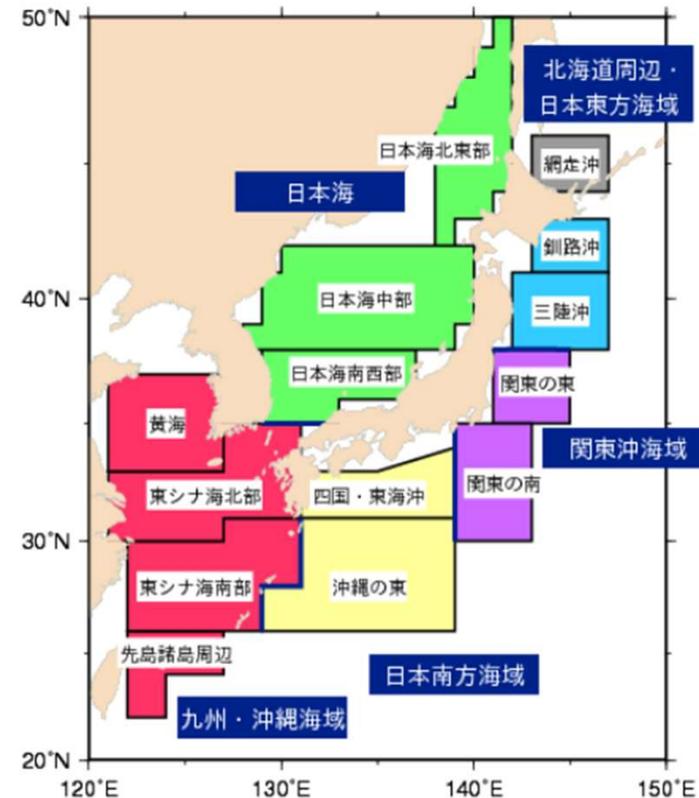
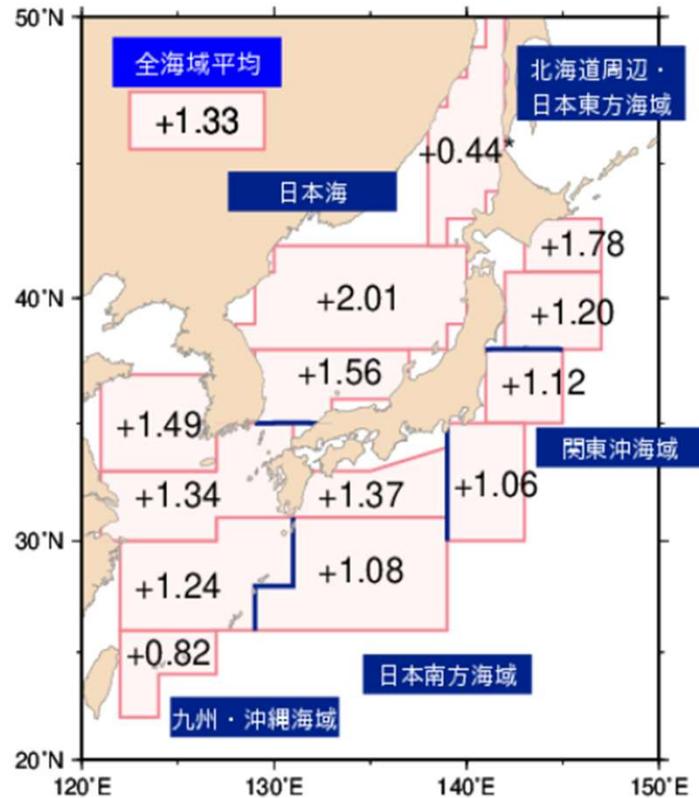
冬季（1～3月）、春季（4～6月）、夏季（7～9月）、
秋季（10～12月）に分けて、季節ごとの変動傾向を比較

長期変動（全体的） 年平均値の推移



1964年～2024年までの61年間で、約1.46°C上昇

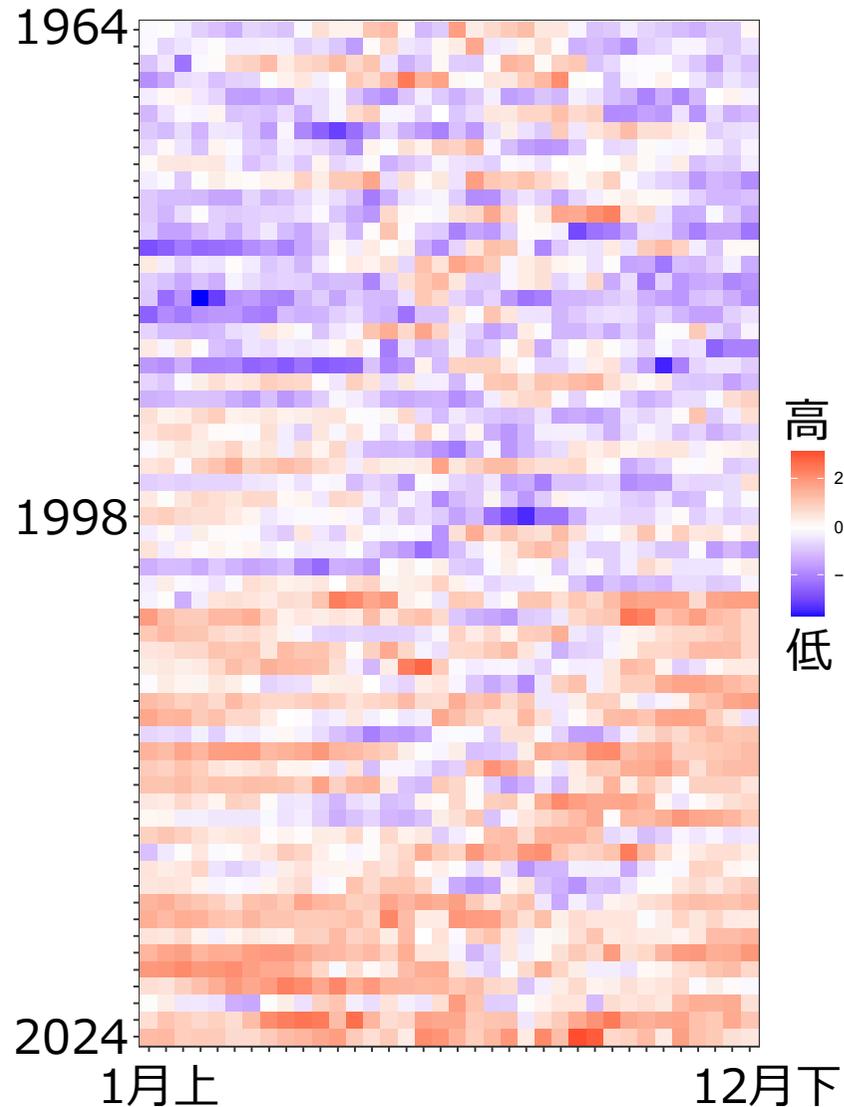
日本近海の長期変動



(気象庁)

- 日本海南西部 1.56°C/100年
- 萩市沖 1.46°C/61年

長期変動（全体的） 旬平均値の平年偏差



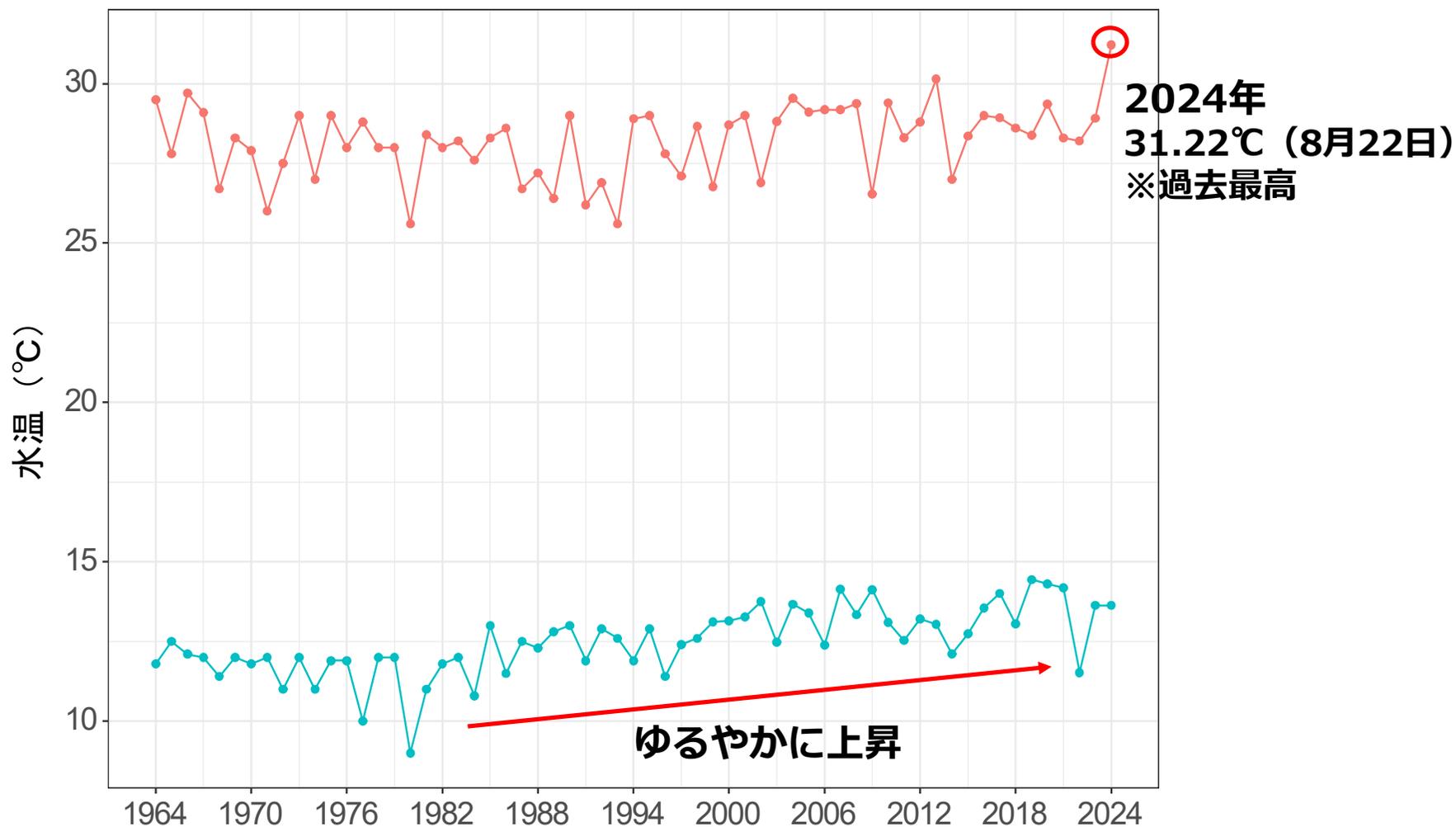
- 1998年以降、正偏差が多い
▶特に、冬季と秋季
- 2010年代後半以降は、季節を通じて正偏差が多い
- 2023年以降は、高め傾向が顕著

旬平均値の平年偏差

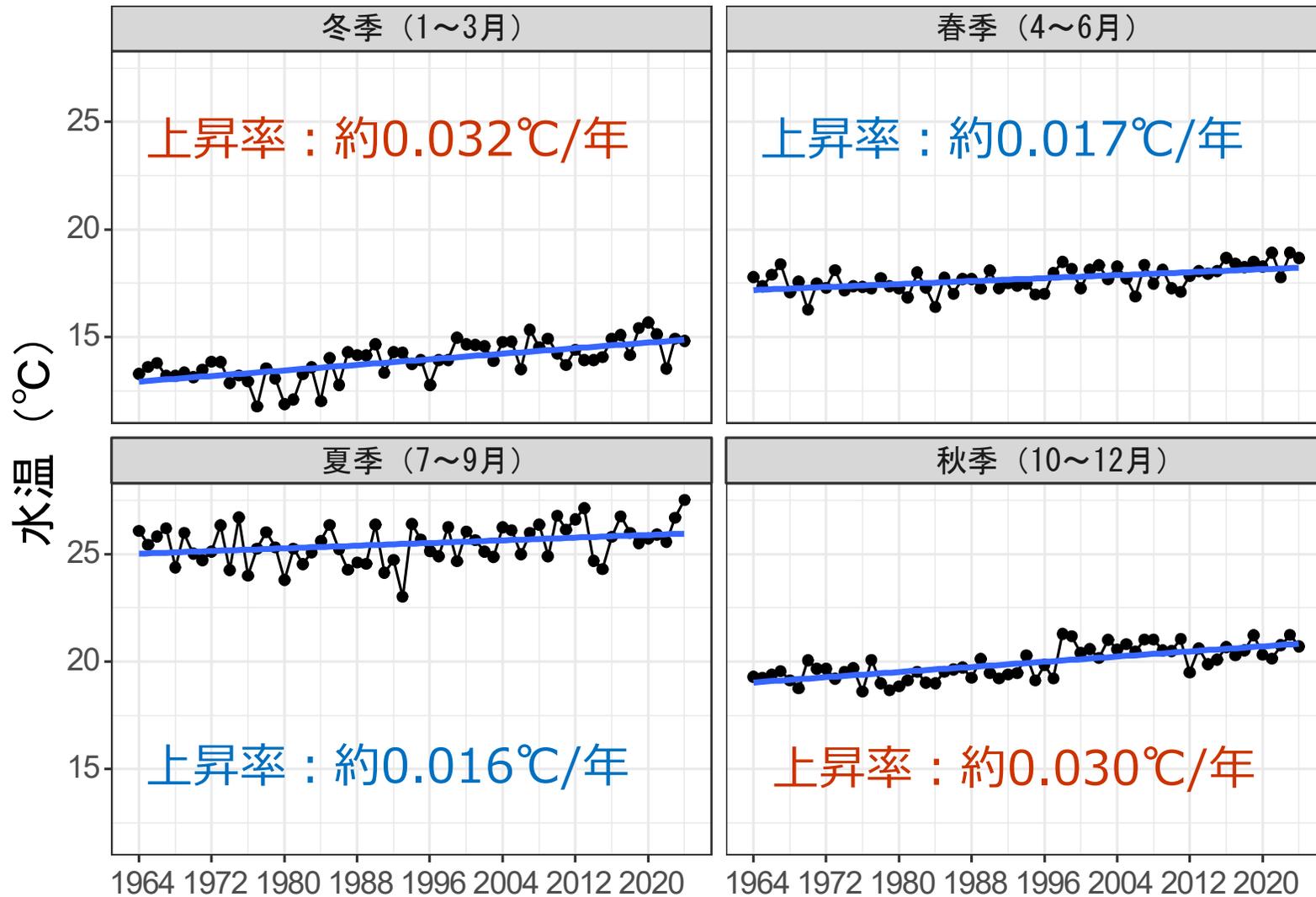
$(\text{観測値} - \text{平年値}) / \text{標準偏差}$

平年値：1964年～2024年平均

長期変動（全体的） 年間最高値・最低値の推移

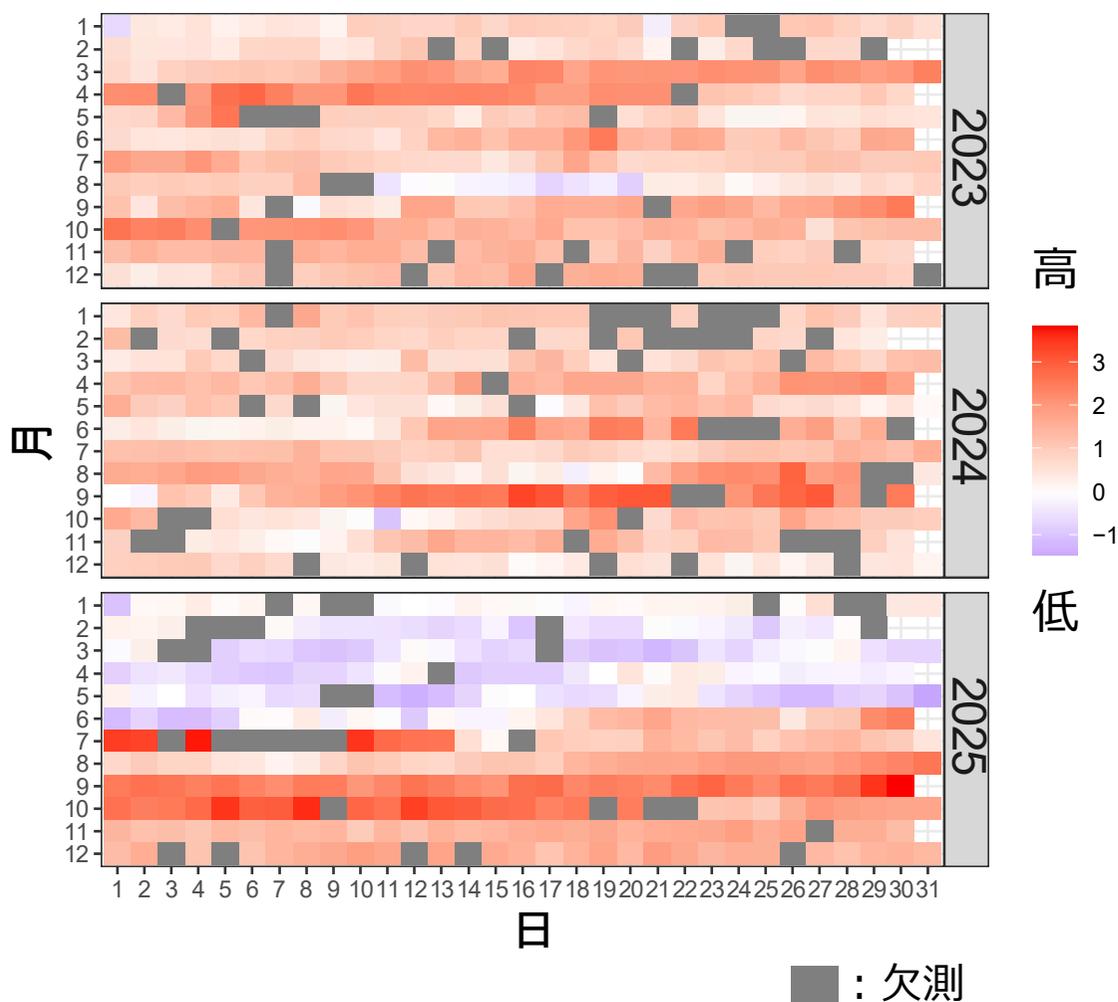


長期変動（季節別）



2023～2025年の推移

観測値の平年偏差



2023年

- 年を通じて高め傾向

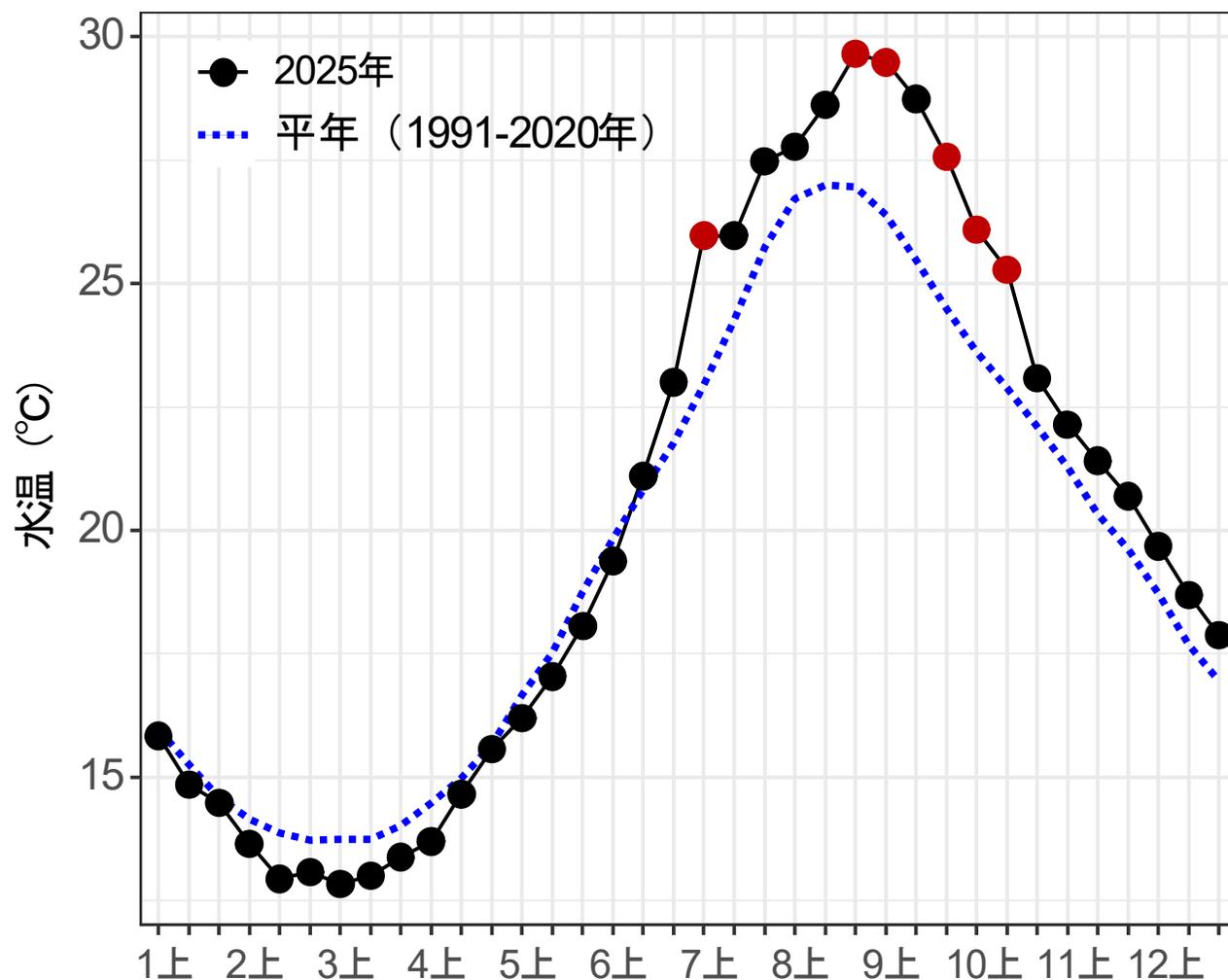
2024年

- 年を通じて高め傾向
- 9月は顕著な高水温

2025年

- 6月中旬以降高め傾向
- 7月上旬、8月下旬～10月中旬は顕著な高水温

2025年の特異的な高水温



過去最高を記録した月旬

7月上旬 : 26.0°C (+3.0°C)

8月下旬 : 29.7°C (+2.7°C)

9月上旬 : 29.5°C (+3.1°C)

9月下旬 : 27.6°C (+3.1°C)

10月上旬 : 26.1°C (+2.5°C)

10月中旬 : 25.3°C (+2.4°C)

まとめ・今後の展望

- 本県日本海域の表層水温は長期的に上昇していた
- 上昇率は、春季・夏季に比べ、冬季・秋季の方が大きかった
年平均値の上昇率：0.024℃/年（61年間で約1.46℃上昇）
- 2023年～2024年は年を通じて、2025年は6月中旬以降高温傾向となり、顕著な高水温が一定期間続くことがあった
◀◀2025年：過去最高を記録した月旬▶▶
7月上旬、8月下旬、9月上旬・下旬、10月上旬・中旬
- 海水温の変動は、水産資源の変動等に影響する可能性

● 表層水温の観測を継続し、今後の動向を注視するとともに、水温上昇の要因について検討